

CS だより

日本キリスト教団逗子教会
牧師 小宮山剛
校長 渡辺 信
2020年5月31日発行

聖書のことば

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」

テサロニケの信徒への手紙一 5章16~18節

みなさん、こんにちは！今回は、5月24日と31日のCS礼拝のお話を、おとどけます。ユーチューブと一緒に礼拝したお友達も、見られなかったお友達も、読んでいただけたら嬉しいです。

5月31日は『ペンテコステ（聖霊降臨日）』です。聞いたことがありますか？「ペンテコステ」ということばは「50」という数字を意味するのだそうです。『イースター（復活日）』（今年は4月12日でした）から50日目の日曜日に、お弟子さんたちに聖霊が下り、お弟子さんたちは、いろんな国のことばで「神様はすばらしい！」と賛美し始めました。そして、いちばん最初の教会ができました。ですから、ペンテコステは、『教会の誕生日』とも言われます。

さて、新型コロナウイルスの影響で、CS礼拝は、礼拝堂には集まらず、ユーチューブで行なってきましたが、6月7日からは、逗子教会の礼拝堂で、みなさんと一緒に行くことになりました。しばらくは合同礼拝です。マスクをしたり、手を消毒したり、座る席を離したり、窓を開けたり・・・と、用心しながらですが、みなさんに会えるのがとてもとても楽しみです。日曜日の朝9時に、逗子教会の礼拝堂に、元気な顔を見せてくださいね。

6月の予定： 7日 誕生会
14日 花の日・こどもの日

みなさんと、みなさんのご家族の健康が守られますよう、祈っています。

* 逗子教会CSについてのお問い合わせはこちらへどうぞ！

電話：046-873-8724

ファックス：046-854-7712

メール：cs@zushikyokai.holy.jp



2020.5.24 CS説教『ステファノの殉教』

新約聖書：使徒言行録 7章51節~8章1節途中まで
こどもさんびか：3『うれしいあさよ』

今日の聖書の箇所は、聖書の中でも有名なエピソードのひとつですが、とても厳しい場面で、読むのがつらいです。しかし、今朝この聖書の箇所を与えられ、私が担当するというのも何か意味のあることだと思います。一緒に読んでいきましょう。

ステファノさんという人のお話です。ステファノさんは神様を信じる人でした。イエス様が救い主であるということを多くの人たちに伝えていました。しかし、イエス様が救い主であるということを信じない人たちは、ステファノさんの言うことややることをよく思っていませんでした。そこで嘘をついてステファノさんを捉えてむりやり裁判にかけたのです。ステファノさんは、集まった人たちの前で、アブラハムからはじまって神様とイスラエルのひとたちの関わりをお話ししたうえで、イスラエルの人たちはいつも神様に逆らい続けてきたのだということを描きました。

そのあとの出来事が今日読んだ聖書の箇所です。それを聞いた人々は怒り、ステファノさんに石を投げつけて殺してしまいました。しかし、そのときステファノさんは、石を投げる人たちを救ってくださるようにと神様に祈りました。「罪を彼らに負わせないでください」と言って、死んでいったのです。

いかがでしょうか。厳しい場面だと思いませんか。ステファノさんは何一つ悪いことをしていないどころか、神様のみ言葉をつたえるという大切な役割を誠実に果たしてきた。それなのにこのような死に方をしなければならなかった。なぜ神様はステファノさんを救ってくれなかったのかと考えます。また、石を投げた人たちはステファノさん最後の祈りを聞いたときにどう思ったのでしょうか。神様のみこころはどこにあるのだろうかと考えます。

聖書には、このステファノさんの死が神様の愛を広く伝えることにつながっていくことを示す記述があります。今日の聖書の最後のところ「サウロはステファノの殺害に賛成していた」というところです。サウロというのは、のちのパウロさんです。イエス様のメッセージを広く世界に伝える大切な役割を果たす人です。パウロさんは、この時はまだイエス様を信じておらず、イエス様を信じる人たちを迫害していました。そのパウロさんがこの場に居合わせた、すなわち、ステファノさん祈りを聞いていた可能性があるということです。パウロさんは何を思ったのでしょうか。聖書にはこのときパウロさんが何を思ったのか書かれていませんが、のちにイエス様の愛を広めるためのはたらきをすることを考えれば、ステファノさんの信仰と祈りがこの出来事をおしてパウロさんに受け継がれたと考えることもできるのではないかと思います。

神様を信じたステファノさんが殺されたことはとても悲しいことです。しかし、イエス様が十字架におかかりになってわたしたちを救ってくださったように、ステファノさんがわたしたち罪人のために祈ってくださった。死の間際に際してのこの祈りはきっと神様がくださったのでしょ。それゆえ、この後、神様の愛は広く世界に伝わっていったのだと思います。

<山岡義卓>

2020.5.31 GS説教『ペンテコステ！』

新約聖書：使徒言行録 2：1～4

プレイズソング：『心を開いて』『主の栄光 宮に』

みなさん、ペンテコステおめでとうございます！

ペンテコステ、おぼえていますか？……そうですね。教会の誕生日です。みなさんにも誕生日があるように、教会にも誕生日があります。みなさんはお母さんから生まれました。教会は、聖霊なる神さまによってこの世に生まれました。

十字架にはりつけにされて死なれたイエスさま。そのイエスさまがよみがえられたのが、イースターでしたね。よみがえられたイエスさまは、そのあと40日間、地上で弟子たちに姿をあらわされました。それからイエスさまは、天の父なる神さまのところに行かれました。その前に、イエスさまは弟子たちにおっしゃいました。「父なる神さまが約束してくださった聖霊を送る。それまでエルサレムの町にとどまっていなさい」と。

それで弟子たちは、イエスさまがおっしゃったとおりエルサレムの都で、集まって、聖霊が来てくださるのを待っていました。神さまにお祈りしながら待っていました。そして、ペンテコステの日のことでした。ペンテコステとは、イスラエルのお祭りで、麦の収穫を神さまに感謝する日でした。その日に、集まって祈っていた弟子たちに聖霊がくださったんです。すごい風が吹くような音がしました。そして、弟子たち一人一人の上に、炎のような舌が現れた。そして弟子たちは、自分たちも知らなかった外国語で神さまを賛美しはじめたんです。

すごい風の音や、弟子たちがみんな外国語をしゃべっている音を聞いたエルサレムの町の人たちが、おおぜい、弟子たちのところに集まって来ました。そして弟子たちが、くちぐちにいろんな外国語で神さまを賛美して語っているのを見て、「あれは新しいぶどう酒に酔っばらっているのだ」といってバカにする人もいました。

すると弟子たちは立ち上がり、そしてペトロが人々に向かって話しはじめました。「これは酒に酔っているわけではありません。これは、預言者ヨエルが神さまの言葉を預言した、その神さまの約束がその通りになったんです！」……と言いました。そして、ペトロは、「神さまが送ってくださったイエスさまを、あなたがたは十字架につけて殺してしまった。そのイエスさまを神さまはよみがえらせてくださいました……」と言いました。

そこに集まった人たちがイエスさまを十字架につけたわけではありません。でも、ペトロの話を知っているうちに、自分たちの罪のためにイエスさまが十字架で死んだのだということが分かってきました。そしてそんな自分たちを救うために、イエスさまは十字架にかかってくださったんだということがだんだん分かってきました。聖霊がわかるようにしてくださったんです。

それで人々はペトロに言いました。「私たちはどうしたらいいんでしょうか？」と。するとペトロが言いました。「くいあらためなさい。そしてイエス・キリストの名によって、洗礼を受けなさい。そうすれば神さまは罪をゆるしてくださいます。そしてあなたがたも聖霊を受けます。」

それで集まった人々は、イエスさまを信じて洗礼を受けました。洗礼を受けて、救われたんです。そして教会に加わりました。その日洗礼を受けた人は、全部で3千人もいました。こうして、このペンテコステの日、弟子たちの他にこの3千人が加わって、教会が誕生しました。

このように、教会は聖霊がはたらいて誕生したんです。そして世界に向かって、イエスさまのことをおしえ始めました。そのようにして教会は世界に広がっていきました。そうしてこの逗子にも教会ができました。逗子教会も聖霊なる神さまによってできたんです。そのように神さまは、今も働いてくださっています。

聖霊はイエスさまを信じたいと思う人のところに来てくださいます。そして助けてくださいます



<小宮山剛 牧師>